

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集 大阪のサシバは生き残れるか? サシバの生息環境とその現状

Volume 38
Number 2
December 2016



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

サシバ♂

文 東 淳樹

写真 浅野俊雄

かつて人は里山と強い繋がりを持ち、里山を維持することで生物の多様性が守られてきた。近年は、多くの里山が放棄され、荒れ放題になっている。減少しているサシバの保護のためにも新しい手法で里山の保全・再生を図り、生きものの多様性を確保し、食物連鎖の頂点に位置する猛禽サシバを保護することが急務である。

写真：2015年 6 月 4 日撮影

撮影地：千葉県

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。